

共助の社会づくり講座の実施状況

1 共助の社会づくり入門講座

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度 (予定)
協働地域	秦野市	大和市	三浦市
協働部署	高齢介護課	高齢福祉課、市民活動課	社会福祉協議会、高齢介護課
市町村の状況	住民による組織化が進んでいない地域もあり、また、地区の役員は、一人で多くの役を担うなど、すでに多忙であり、新たな講座は、負担感があるが、今回、県が市と協働で参加しやすい講座を企画・開催することで担い手の掘り起こしにつなげていく。	生活支援コーディネーターは、基本的に地域の中で活動している人の中から選ぶことを目指している。市独自の研修を作り出すことが喫緊の課題であり、そうした観点で協働したい。	県の中でも高齢化率が高く、ボランティアはいつも同じ方であるため、担い手不足を危惧しており、掘り起こしが必要だと感じている。地域住民の交流の場や健康づくりの拠点となる未病サロンを広げていきたい。
講座名	回想法とともに学ぼう「集いの場づくり講座」	地域支え合い講座 つながり、支え合うまちづくりを目指して	(仮)健康づくり・介護予防の活動を始めませんか! ～楽しく学んで、地域の健康づくりに生かそう～
開催時期	2018年1月15日(月)～3月5日(月) 全5回 + 現地見学	2019年1月28日(月)～2月22日(金) 全4回	2019年11月11日(月)～12月9日(月) 全5回
想定した対象者	認知症予防(回想法)に関心のある方(自分のこと) 地域活動に前向きな一般住民	自治会など何らかの活動をしている一般住民 (リーダー向け講座は市社協が実施済)	未病・健康に関心のある方 (自分のこと)
目的	一般の地域住民が興味を持てるようなテーマを取り入れ、そのテーマを学習する中で地域アセスメントやファシリテーション技法といったスキルも自然に習得し、受講後は地域での様々な活動やさらなる学びの場につなげていく。	色々な活動事例を学ぶ中で「歳を重ねても住み慣れたまちで生活していくためにはどうしたらよいか」を自分たちで考えてもらう。	フレイルチェックやコグニサイズ、未病ウォーク等を行うことや未病サロンでの活動を体験するなど、自身の健康のためから入り、さらに、サロンなどの活動事例を学ぶことで、地域活動に意識を向けてもらう。
内容	認知症予防にも役立つ思い出語り(回想法)を体験しながら、仲間づくりやファシリテーションの技法を身につけるとともに、自身が暮らす地域の状況をアセスメントするワークショップや共助の社会づくりに関する制度理解(新地域支援事業)、事例学習を経たうえで、自分で考える「集いの場」について実現プランを作成し、発表する。	住民からのボトムアップ式で生まれた身近な助け合い活動について、活動を始めた背景やきっかけを踏まえて紹介していくことを中心に、共助の社会づくりについての概要及び地域の状況をアセスメントするワークショップを経たうえで、「つながり、助け合う地域づくり」について考え、発表する。	未病サロンで実際に活動する市民サポーターの活動を見ながら、未病サロンでの活動を実際に体験することで、サロンの楽しさや必要性を感じてもらう。さらに、講義の中に活動までの経緯なども含め、事例の紹介を織り交ぜ身近な活動者のイメージを明確にししながら、最終的に健康づくりサロンについて考え、発表する。
参加者	30名 地域活動等に参加したことが	34名 地域活動やボランティア活動を	

	ある 20名 ない 10名	している 28人 していない 4人	
結果	<p>「「集いの場」をつくってみたい又は参加したい」と回答された方は12名（57.1%）。「すでに地域で活動しているので、今回学んだスキルや知識を活用していこうと思った」と回答されている方を加えると18名（85.7%）となった。（最終回答者数21名）</p>	<p>様々な団体の取組みの紹介や地域ごとグループワークなどは、全体の94.7%（18名/19名中）が講座編成について良いと回答しており、活動のヒントを得られた方が、55.6%（10名/18名中）、学びたいことを学べた方が、61.1%（11名/18名中）であった。自由意見で、グループワークでのつながりを感じられた方や今後の活動を意欲的に語られた方も多かった。</p>	
フォローアップ	<p>・市及び市社協の事業を代表者として活用している方（人数） 地域介護予防活動支援補助金交付者(*1) 3名（うち1名は新規） 市出前講座活用者(*2) 2名 市社会福祉協議会サロン登録者(*3) 1名</p> <p>*1 サロン活動をしている団体に市が補助金を交付している。 *2 市民団体からの要望に応じて、市が出前講座（体操、制度説明等）に出向く。 *3 社協が毎年作成しているサロンの紹介冊子に掲載されている。</p> <p>・その他市が実施する活動（いきいき健康サポーター、認知症キャラバンメイト等の介護予防講座にボランティア的な立場で参加）に、若干名が参加。</p> <p>・2地区（西、大根）のサロンで、回想法を導入 3/3 西地区（渋沢エリア） 参加者100名 5/25 大根地区（東海大学前） 参加者48名</p> <p>・平成30年度の回想法リーダー養成講座に受講生から3名、講座に興味があったが諸事情により参加できなかったという秦野在住の方2名の計5名が参加。</p>	<p>（現在確認中）</p>	

2 共助の地域づくりを推進する講座

○開催時期

2018年10月10日（水）～2019年2月20日（水） 全6回

○主な対象

- ・地域で助け合い活動を実践されている方
- ・活動の担い手として関心のある方 など

○目的

共助の社会の基盤となる地縁での助け合いを推進するため、地縁組織の活動を活性化していくリーダーの育成や、地域での助け合い活動を推進・普及できる人材の育成をめざす。

○内容

共助や制度について理解し、現場見学も含め、各地域の取組み実践者から住民のニーズの把握や地縁活動の仕掛け方を学び、最後に「これから地域でどう活かすか」をグループでの話し合い、発表した。各回ではグループ討議を交えながら、最終回での発表に向けては各自で地元の状況の調査をする等、活動に必要なとなるスキルの習得も併せて学べる構成とした。

○参加者

28名

（講座に関係した活動経験が ある 19名（うち団体が9団体） ない 8名）

○結果

月1回程度のペースで年を跨いで行ったことなどあり、修了率は64.3%（18名/28名）であったが、活動のヒントを得られた方76.9%（10名/13名中）、学びたいことが学べた方76.9%（10名/13名中）となり、「サロンを始めたが、わからないことも多かったので、大変役に立つ講座だった」や「これからの活動の方向性がみえた」など今後の活動を見据えた感想も見られ、一定の成果は得られた。

○フォローアップ

2019年7月10日（水）に同講座受講生に呼びかけを行い、若葉台団地の見学会を行い、7名が参加した。

当日の内容としては、NPO法人若葉台の理事長（白岩正明氏）からレクチャーを受け「地域交流サロンふれあいにし」での昼食、地域交流拠点等、現地を見学した団地内では、高齢者や障がい者、子どもたちが、それぞれ生き生きと暮らしている様子がかがえ、活気があり、地域での助け合いの必要性を改めて実感できるものだった。